

JOFI OSAKA

JAPAN OFFICIAL FISHING INSTRUCTOR OSAKA



ジョフィおおさか

2001年(平成13年)7月5日

発行者 大阪府釣りインストラクター連絡機構・広報部編集委員会
大阪府中央区東心斎橋1-9-21 ニュー長堀ビル3階34号 大阪府釣り団体協議会・本部内
TEL.06-6245-4800 FAX.06-6245-1360

VOL.8

平成13年度 JOFI 大阪

定期 総会

13年度事業計画、
予算と新役員選出
を承認。



会長 吉川幾久雄

“新しい年度を
力一杯頑張りますよう”

若葉の美しい街路樹の連なる、北
港通りに面した福島区民センターで
開催された、平成13年度定時総会は

力強く意識は高く諸事と
どこおりなく諸議案を審
議し役員を選出して、新
しい年度の事業に取り組
む意欲を示しました。

新しい年度の役員さん
は素晴らしい方々です。ご
苦労もあろうかと存じま
すが、若々しい構想と実
行力で事業が推進される
事を期待します。

JOFI 大阪の平成13年度定期総会は、4月22日大阪福島区民
センターで開催しました。高淵諒理事の司会で開会、縄稚久和監事
を議長に参加者54名、委任状101通(会員数190名)で総会が
成立しました。

吉川幾久雄会長の挨拶の後、各部長から平成12年度の事業報告、
収支決算、監査報告があり、続いて平成13年度の役員改選が行なわ
れ、吉川幾久雄氏の再任と推薦理事を全会一致で承認された。続け
て各部長から平成13年度事業計画と収支予算計画の発表があり承
認されました。

第2部の講演では大阪府環境農林水産課課長補佐・森政次氏に
よる「外来魚対策に関する府の基本姿勢について」と(財)日本釣振興
会近畿支部副支部長・広瀬正己氏による「今後の日釣振と釣りインス
トラクター機構との関係について」をテーマに研修を行いました。

第3部として山崎勝彦氏を座長に「今後のJOFI 大阪の活動
について」をテーマに、活発な意見交換が行なわれ、これを基に平成
13年度JOFI 大阪の新しい活動が期待されるところでありま
す。

(広報部 馬谷記)

JOFIおおさか 会員在籍者数

海水面	171人
内水面	39人
計	210人

(平成13年6月1日現在)



最近いろいろ思うこと(パート2)

副会長 木村 章



釣りインストラクターが誕生して10年が過ぎました。私にとってこの10年を振り返ってみてインストラクターとしての活動が思うに任せず、反省しきりの今日この頃です。

そこで新世紀を迎え思い切ってこれから釣りを始めよう、釣りを学びたい人を対象に釣り大会を開催したと思うのです。広く一般紙や釣り具業界紙で参加を呼びかけ、磯釣り大会、ルアーフィッシング大会、鮎釣り大会、大阪湾波止釣り大会、船釣り大会と盛りだくさんの部門で開催してみたらと思うのです。

釣り具も各個人の道具を貸し出し、釣りの楽しさを味わってもらいながら、釣りのマナーや自然との共生について学んでいたかと思うのです。潜在的に釣りを始めたい、習いたいと思う人はたくさんおられます。何かのきっかけで釣りを始めてみたい人の為に、機会の場を提供したいと思うのです。

釣りインストラクターも無理をせず、一人が一人を担当し、一緒に釣りを楽しむと云うことで良いと思うのです。釣り教室を現地で開くと考えてみたらどうでしょう。方法はいろいろあると思いますが、皆さんの英知を集めてこれまでの活動から一歩踏み出してみたいと思うのですが…。

副会長をお受けして

副会長 末友 良治



2001年4月22日、盛況裡に総会を終えられ、会長を始め役員の皆様御苦労様でございました。

副会長の依頼を受けながら、

所用のため総会を欠席致し申し訳ございませんでした。5年来の肺病とのおつきあい、JOFI大阪の組織の一員としての活動にご迷惑をおかけすることと思いますが、会員の皆様の御協力と御支援を賜ります様宜敷くお願い申し上げます。

今や世の中は若きリーダーの時代に変わりつつあります。我々釣界も元氣な若い世代へ交替をいつも思い、今更私の様な「オイボレ」が出る幕ではないと心に決めながら引き受けてしまうのも又「老人力」かと思ったりしています。

先日亡くなられた三波晴夫さんではありませんが「温故知新」古きを尋ねて新しきを知る精神、いつまでも古い伝統や習慣に捕われず昔の良き所は引き継ぎ、新しい感覚の物事を取り入れ、お互い協力し合いながらJOFI大阪を盛り立てて行く事を願ひ挨拶に替えさせて戴きます。

講演

外来魚対策に関する

府の基本姿勢

講師 大阪府環境農林水産課 森 政次(水産課長補佐)様



外国から移入されて定着した魚類はブラックバス他7種を数えます。ブラックバス、ブルーギルは生態系の攪乱、漁業への

影響があり、国は、移植制限の法令化、棲み分け論、輸入制限の検討を進めている。大阪府は、移植の禁止、漁業権魚種は考えていない。外来魚の駆除は、天然記念物の保護および漁業権操業に被害をもたらした場合に駆除に努める。棲み分け論：国および他府県の動向を見ながら慎重に判断する。外来魚の何が問題なのかを小中学生に対し啓発する。

講演

今後の日釣振と釣りインストラクター機構との関係

(財)日本釣振興会近畿支部 副支部長 広瀬正己様

二十年前米国の釣事情視察が企画され、私も大釣協の河崎教秀さんとチームを組んで日本と米国の釣りにつき調査し、本日お渡しした報告を提示しました。地域的対比では1対25、日本はアメリカの2州の面積である各州単位の各事項を集積する歴史には米国の釣りは浅い歴史である。



日本の狩猟本能の強さや、量的欲望の深さは周知のことである。スポーツフィッシングに表現される釣り実態をアメリカで見ると、日本の実態はどうか。彼等の魚に対する感覚は、その根本的なものに差異がある。アメリカでは純然たるスポーツとして、日本では絶対必需品として求める。この実情は魚の生産、保護、管理に現れ、日本の漁業行政や釣り振興に具現されている。米国には日本の全釣協のような団体は無く、作る必要がないのではないか。他人の権利を尊重する思想に起因するからである。

ライセンズ制や入漁料については行政指導によるところが多く相手の立場を考へることが権利と義務の関係である。

全釣協と日釣振の関係は車の両輪のような綿密な提携を保って行動せねばならない。

現在の行政、漁業、釣り人の関係は二十年前と現在とは何ら変らない事を痛感している。(吉川 幾久雄)

平成13年度 大阪府釣りインストラクター連絡機構

理事及び各部会委員

【監事会】		【副会長】		【会長】		【理事】	
縄 北 新	村 竹	久 龍 太	和 雄 郎	木 来 末	村 田 友	吉 川 幾 久	来 友 吉
戸 見	波 学	俊	二 治	仁 良	章 成 治	久 治 雄	来 友 吉
俊	二 治						
【地区委員会】		【事業部会】		【広報部会】		【会計部会】	
南部地区委員長	中央地区委員長	北部地区委員長	柴崎 井波良幸	柴崎 井波良幸	柴崎 井波良幸	柴崎 井波良幸	柴崎 井波良幸
柴崎 井波良幸	柴崎 井波良幸	柴崎 井波良幸	柴崎 井波良幸	柴崎 井波良幸	柴崎 井波良幸	柴崎 井波良幸	柴崎 井波良幸
柴崎 井波良幸	柴崎 井波良幸	柴崎 井波良幸	柴崎 井波良幸	柴崎 井波良幸	柴崎 井波良幸	柴崎 井波良幸	柴崎 井波良幸
柴崎 井波良幸	柴崎 井波良幸	柴崎 井波良幸	柴崎 井波良幸	柴崎 井波良幸	柴崎 井波良幸	柴崎 井波良幸	柴崎 井波良幸

【地区委員会】		【事業部会】		【広報部会】		【会計部会】	
南部地区委員長	中央地区委員長	北部地区委員長	柴崎 井波良幸	柴崎 井波良幸	柴崎 井波良幸	柴崎 井波良幸	柴崎 井波良幸
柴崎 井波良幸	柴崎 井波良幸	柴崎 井波良幸	柴崎 井波良幸	柴崎 井波良幸	柴崎 井波良幸	柴崎 井波良幸	柴崎 井波良幸
柴崎 井波良幸	柴崎 井波良幸	柴崎 井波良幸	柴崎 井波良幸	柴崎 井波良幸	柴崎 井波良幸	柴崎 井波良幸	柴崎 井波良幸
柴崎 井波良幸	柴崎 井波良幸	柴崎 井波良幸	柴崎 井波良幸	柴崎 井波良幸	柴崎 井波良幸	柴崎 井波良幸	柴崎 井波良幸

平成12年度 会計報告

(平成12年4月1日～平成13年3月31日)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
《前期繰越金》		会 議 費	12,500
内訳 3/31 郵貯	1,044,222	事 務 費	14,316
郵便振	31,289	通 信 費	148,548
現金	0	印 刷 費	130,935
連絡会費		研 修 会 費	101,603
12年度	571,000	全 開 支 払 い	187,610
雑収入		支 払 手 数 料	13,260
総会祝金・日釣振	10,000	備 品 (ゴミ袋)	17,440
《金銭出納帳》		会 報 送 料	23,040
懇親会残金	33,800		
郵便貯金			
利息	156		
収入 計	1,690,467	支出 計	649,252
		《3/31 残金》	
		内訳 郵貯	1,033,858
		郵便振	7,357
合計	1,690,467	合計	1,690,467

以上、監査の結果、適正と認め報告致します。

平成13年3月末日

会計部：森脇 操、柴田 稔、越田 光

ある会員さんの話ですが、釣りの団体なのに掃除ばかりで釣りをやる事がない、何とか皆さんで釣りを企画することは、出来ないでしようか。会員の皆さんは、それぞれ別々のクラブに所属して忙しく、なかなかJOFI大阪としての釣り大会は難しいでしょうが、一度皆さん考えてみて下さい。

最後に皆さんの楽しい釣りが出来る事を祈っております。(森脇)



平成13年度 予算

(平成13年4月1日～平成14年3月31日)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
《前期繰越金》		会 議 費	12,500
内訳 3/31 郵貯	1,033,858	事 務 費	15,000
郵便振	7,357	通 信 費	150,000
連絡会費 190人	570,000	印 刷 費	135,000
		研 修 会 費	110,000
		全 開 支 払 い	190,000
		支 払 手 数 料	14,000
		会 報 送 料	24,000
		支出 計	650,500
		次期繰越金	960,715
合計	1,611,215	合計	1,611,215



事務局長をお引き受け するにあたり

事務局長 高淵 諒
南部地区委員長

この度、はからずも事務局長をお引き受けすることとなり、私自身大変戸惑っております。事務局の一員として、木村章現副会長、先代の中野恵司氏のご苦勞、業績を、目の当たりにしてきた私にいったい何ができるのかと日々悩んでおります。

このような私ですが、ご両氏に少しでも近づくよう努力する所存ですので、会員の皆様のご支援、ご協力、よろしくお願い致します。

さて、昨今巷ではIT革命とやら騒がれてますが、残念ながらわがJOFI大阪では、会員の方々からの情報、ご意見、問い合わせ等が、理事会・各役員にスムーズに届かないこともありました。また本誌Vol.7号でも『全関西磯釣連盟さんのメールへ』との記事もありましたが、事務局員が常駐していないため、その対応にタイムラグを生じ、ご不便をおかけする事もあります。

つきましては、緊急時、また連絡先・問い合わせ先等不明の場合、拙宅へ一報いただければ、できる限り即応できるよう努めますので、よろしくご利用ください。

地の利を生かして

この度、南部地区委員長をお引き受けするにあたり、平成8年世話人会発足時、また平成9年JOFI大阪発足以来、南部地区委員長の他に広報部会委員長も努められました。北田敬明さんに労いを申し上げますと共に、感謝申し上げます。

つきましては、ご見識豊かで、筆も立ち、釣界にも明るい北田さんの足下にも及びませんが、阪南市在住という地の利を生かし、JOFI大阪の活動に役立つよう日々努めますので、皆様のご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

Eメール tumako@pop.ne.jp
TEL/FAX 074-741-3741
(FAXの場合、呼出し音を確認したらすぐ送信して下さい)



人と人との つながりを 大切に

事業部委員長 井波良幸

この度、事業部担当させていただく事になりました。インストラクター資格を獲つて4年目の私が、このような大役を受けて良いものかと迷いましたが、引き受けてしまいました。

本年度、事業部では「人と人とのつながりを大切に」を合言葉にしていきたいと思っています。

事業部で活動される理事の皆様並びにJOFI大阪で活動される皆様方には、色々ご迷惑をおかけすると思いますが、よろしくお願い致します。

私がインストラクターの資格を獲つたのは、青少年指導員当時、不登校で家庭内暴力をくり返していた少年を担当したのがきっかけでした。

その少年が落ち着きを取り戻すまで半年かかるか、1年かかるか、先輩方は見られていたようですが、釣りという開放感のあるアウトドアの遊びの中で、少年のお腹の中にたまっていた不満、要求、うっぶん等の「ガス」が短時間で抜けるのを見て「釣りって素晴らしいなあー」と思いました。

した。

次は勉強です。

「そろそろ学校へ行けよ」という私の発言に、その少年が「おっちゃん勉強せんでいいからそんなん言えねん」「僕、学校行つても、もう授業ついていかれへん」運命の言葉でした。高校の受験勉強もろくにしていな、40半ばの私が新聞に出ていたインストラクター資格試験の記事を見て、その少年に「おっちゃん、これ一発で合格するから、君も私の知り合いの塾に行つて学校の授業についていけるまで勉強せえ」と言いました。二人のお勉強のはじまりでした。

「21世紀に向けて」

北地区委員長 橋本正信

時代が変わり、社会が変わっても、デジタルでは体験できない、変わらない感動があります。一日を水辺に立つだけで、自然はいつも清々しい刺激を与えてくれる。やもすると忘れかけていた夥しい感情や感動を蘇らせてくれると思いませんか？

人は、自らが大自然の一部分であることに気づくと思います。釣りは、人生を、生活を豊かにする文化であります。私たちは、そんな釣りの愉しさと、素晴らしさをより多くの人次と共有し分かち合うことを願って「大阪湾稚魚放流」「ファミリー釣り大会」「各地クリーンアップキャンペーン」など、幅広い活動を行っています。新しい釣り文化の創造を

目指して釣りをする人にも、しない人にもっと釣りの愉しさを！そして釣りに親しむ機会をもっと多く人に知って欲しい……

釣りインストラクターとして、釣りの様々な愉しさを是非みんなで見ましょう。インストラクターの皆様、御協力お願い致します。

最後に、釣りを通じて人生を、生活をエンジョイしましょう！

初心

中部地区委員長 東野英治

皆さんお元気ですか。日頃は多忙の中活動をされていると存じます。

さて今期も中部地区委員長の留任となりました。さほどの役立ちもありませんが留任となるのは、心苦しさを感じていますが（だから留任？）皆さんはどうでしょう。インストラクターの資格は得たものの、今ひとつピンとこないなんて思っている方も多いのでは？我々はボランティアですから悩まず気楽に活動しましょう。ただ活動の場を求めているのなら、自分から積極的に事務局や広報、専門部の方に考えや意見を問い合わせして下さい。きっと何か行動を起こす元となるものが見つかると思います。

インストラクターを取得しようと考えた時の自身の気持ちを思い出して、皆でより良い釣り場環境と互いに関わり合う心の交流を広げて行きたいですね。水面に波紋を広げるのは貴方ですよ。今期もよろしくご指導をお願い致します。

社団法人 釣り団体協議会 主催

平成13年度 釣りインストラクター講習会

資格試験開催地 大幅に増える



昨年度は大阪での開催はなかったが、本年度は大阪をはじめ福岡・愛媛・静岡・東京・盛岡の全国6箇所で行われます。

開催地も多く、諸講師の先生方の日程調整等の関係で、大阪地区での講習会は、10月27日(土) 28日(日)の両日ヒューマンアカデミー大阪で開催される予定です。

なお、試験日は平成14年2月3日(日)に全国一斉に行われる予定です。インストラクター諸氏の周囲の方でまだインストラクター資格を取得されていない方がありましたらぜひお勧めください。

また、平成13年度フィッシングマスター講習会及び資格試験は東京で平成13年12月15日(土) 16日(日)に開催されます。



また、九州から来られた若いカップルが「たくさん魚を放流して下さい」とご協力いただきました。

一番多かった声は、「シーバス(スズキ)は放流しないのですか?」という事でした。なるほど、後ろにはたくさんスズキの魚拓があり、私も以前より思っておりました。あとで、先輩インストラクターの方々に質問してみると、スズキの稚魚は群れで行動するので漁師の網にほとんど捕られてしまうのと、水産試験場にスズキの稚魚はいないとのことでした。

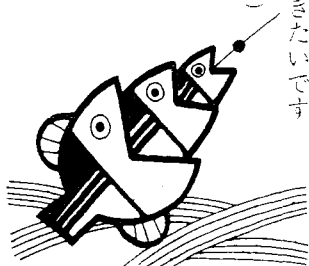
スズキの稚魚の放流が実現すれば、より多くの方々に募金協力して頂け、稚魚放流の必要性和自然保護の大切さを理解していただけるのではと思いました。

2日目の午後は、大阪府民釣り大会表彰式の会場設営でした。

先輩インストラクターのご指導で、たくさん賞品を分けたり、会場の看板設置等を行いました。表彰式では、1人で何賞も受賞される方や、毎年受賞される方など、たくさんの方々が受賞されました。

私はこれだけの魚が釣れる大阪湾を大切に、ゴミや汚染のないものと美しい海になるよう心がけ、協力していきたいです

(酒井将光)



2001 フィッシング大阪

2月17日、18日の両日、フィッシングショーの会場であるインテックス大阪には、朝早くからたくさんの方が来られていました。昨年までは、私もあの中の一でしたが、今年は会場内よりお待ちする事となり、少々

複雑な思いがしました。

さて、1日目の私の役割は、ご来場の方々に「大阪湾チヌ稚魚放流の募金協力」をお願いする事です。まずは、気分よく募金活動をする為に私も募金し、バッジを頂きました。

なにぶん初めての募金活動でどうしていいの戸惑っておりまして、先輩インストラクターの元気のよい声が聞こえてきました。すると、回りの方々がその声につられて近寄ってこられます。

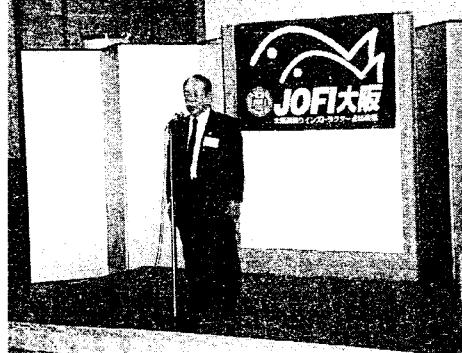
私も大きな声を出そうとするのですが、なかなかうまくいきません。そうしていると、小さい子供連れの若い夫婦が近付いてきて「がんばって下さい」と励ましの声と一緒に3000円を手渡してくれ、「ありがとう」と言っておバツジ等をお渡ししました。なんとなく気持ちのいい瞬間です。

平成13年度 JOFI大阪役員会日程及び JOFI大阪主催・協力事業

月日	行 事	場所
4月11日(水)	第1回役員会	本部
4月22日(日)	平成13年度総会	福島区民センター
5月16日(水)	第2回役員会	本部
6月20日(水)	第3回役員会	本部
7月 5日(木)	会報「JOFI大阪8号」 発刊	本部
7月20日(祝)	淀川「わんど」クリーンアップキャンペーン	淀川左岸城北
8月 3日(金)	水産基本法についての勉強会	ヒューマン・アカデミー
8月12日(日)	釣りインストラクター研修会	大阪府淡水魚試験場
8月19日(日)	普通救命士講習会	大阪市中央消防署
8月30日(木)	大阪湾稚魚放流事業協力	堺港・南港・北港
9月19日(水)	第4回役員会	本部
10月21日(日)	大阪府ファミリー釣り大会・全国一斉釣り場清掃	泉佐野食品コンビナート
10月27日(土) 28日(日)	平成13年度釣りインストラクター資格講習会	ヒューマン・アカデミー
11月21日(水)	第5回役員会	本部
12月10日(月)	会報「JOFI大阪9号」 発刊	本部
1月	JOFI大阪 新春懇親会	ヒルトンホテル
2月 4日(日)	平成13年度釣りインストラクター資格試験	ヒューマン・アカデミー
2月16日(土) 17日(日)	FISHING SHOW IN OSAKA 2002	インテックス大阪
3月	大和川クリーンアップキャンペーン参加	大和川・石川
3月20日(水)	第6回役員会	本部
平成14年度 4月17日(水)	第1回役員会	本部
4月	平成14年度総会	福島区民センター

第5回新春懇親会

開催!!



平成12年度JOFI大阪新春懇親会が、去る1月16日に大阪ヒルトンホテルに於いて、釣具、釣専門紙、スポーツ紙等、出版各社代表の御臨席を賜り、来賓、会員総勢58名の参加を得て、盛大に行なわれました。

吉川会長の挨拶に始まり、来賓各氏の挨拶を頂き、豪華料理を囲みながら、相互の親睦を深め有意義な一時を過ごしました。会も終宴恒例の豪華釣具等の当る大抽選会が和気あいあいの内に行なわれ、JOFI大阪の益々の発展を誓い、お開きとなりました。

(辻 哲男)

釣りクラブ紹介

私の釣りクラブを紹介させて頂きます。

日本溪流釣連盟 桃渓会です。

現在会長・新谷氏以下10名で頑張っています。元々JR桃谷駅前の間口5尺の桃谷堂という小さな釣具店に入する面々、奈良県吉野の天川で知り合った面々が日本式毛針釣(テンカゴ)を軸に1982年に結成され来年度20周年を迎える。

最盛期には会員数50名程を数えたが、昨今では平均年齢50才を過ぎ、溪を歩くのもつらい面々も出て来た。又、現在JOFI大阪に5名在籍しそれぞれ自身の釣より後継者の育成に、自然保護(森林ボランティア等)に、来期のインストラクター試験にチャレンジする面々がマイペースで時々連絡を取り合い、赤ちやうちんで昔の自慢話を繰り返し、ウンチク話で溪の小魚に思いをよせて、うさを晴らしています。

我々思う斬新な考えをお持ちの方、桃谷で一杯やりながらどうですか。

(近藤)

岬町・親子釣り大会「小さな努力」

私が、昨年の8月に岬町親子釣り大会の事業活動に参加して感じたことは、非常に多くの参加者があったこと、そして釣りに興味を持っている子供達が沢山参加していることでした。

主催者は、参加者の心得として、危険防止、他人に迷惑をかけない、自然環境の保全と釣り場の清掃を呼びかけていました。

私が、参加者と一緒に会場内を歩いて気づいたことは「ゴミ」がいかに多いかでした。まず最初に目についたのは煙草の吸い殻です。大人は子供達の手本でなければならぬが、仕掛けをそのまま捨てること、釣りのついた釣り糸を棄てると、人が怪我をしたり、野鳥等の足や翼にからみ飛べなくなったり死んでしまうこともあるでしょう。釣りをする人は、魚を釣る腕を磨くまに、マナーを十分に習得して、釣りに臨むべきではないでしょうか。

私が、ビニール傘を持って親子連れの釣り人の横でゴミを拾っていると小さな子供が、ゴミを拾って「おじさんどうぞ」と言っていて渡してくれました。又、その子の両親も「どうもすみません」と言っていて、一緒にゴミを拾い集めてくれました。この様な気持が1人から10人、100人と広がることにより、釣り場も綺麗になり、魚も増え、気持ちの良い釣りが出来る様になるのではないのでしょうか。

小さな努力が大きな力になることを信じて、これからも続けて行きたいと思っています。

(山崎勝彦)

会員リレー伝言板

会長 吉川幾久雄

尋常小学校低学年の釣りは草竿に木綿糸、ご飯粒の餌で掘割の杭廻り石垣のきわが釣り場です。竿も筋のよい竹に代りテグスを釣も大小様々です。餌はミミズ、シジミ、エビ、タニシ、サナギ、蚕、サツマイモ等、毛鉤も小アユ用、ハエ用、ハス用、手作りフライも使いました。

季節の移り変りに釣魚も変わりました。薄氷の張る岸辺の冬眠中の鮒の手つかみから、3月上りモロコ、4月アユ、ニゴロ鮒、5月6月は産卵期のナマズ、ギブ、ワタカ、夏場はハス、コイ、ウナギ、アユ、平長エビ、秋はコイ、ハイシャコ、北風が吹くと釣りは終了です(「ふな」は外道として歓迎されません)

次回は事務局・中野恵司さんをお願いします。

今年開かれる 釣り教室



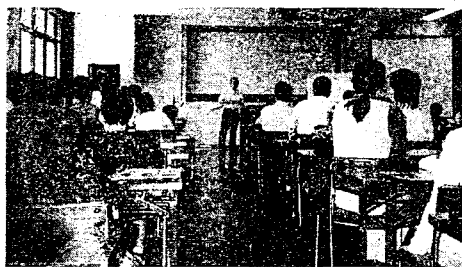
- ①=開催行事名・執筆テーマ
②=開催日時
③=開催場所
④=主催者・協賛者名
⑤=開催趣旨

①大阪市西區区民釣り教室 ②平成13年7月7日(土) ③西區民センター ④JOFI西區インストラクター ⑤子供達に楽しい釣とマナーを

本年も昨年に引き続き子供達を対象にしたフイッシングスクールを開きます。本年は室内に於ける教室だけでなく、屋外にての実験の体験も出来る実釣も行いたいと思っております。教室は西區の区民センターを利用、昨年参加してくれた1人の子供の両親からお礼の連絡がありました。この様な大変嬉しい事が、まだまだ多くあれば、これにこした事がないのです。今年は第2回目、当地区のインストラクターの方々には是非協力をお願いしたいのです。なお今年は昨年と違って区民センターより、バスを出していただけるのと、事なので、実釣も行いますので、2回に分けての講師をお願いするのは大変心苦しいのですが、皆様の協力で立派に第2回も成功させたく思っています。(佐藤 功)

①枚方、交野市「市民釣りの集い」 ②平成13年6月3日、8月6日、10日、10月7日 ③枚方市渚内野町「大阪府渚処理場内」 ④枚方市、交野市下水道部及び淀川左岸流域下水道組合 ⑤釣りを通じて自然と親しむ

平成13年度も延べ7日間開催予定。参加予定者数延べ1300名前後(12



年度実績1300名参加。内釣り教室受講者延べ250名。平成14年度以降は、施設拡張により規模縮小の恐れあり、よってインストラクター活動に支障が起るものと懸念する。(中出隆文)

①「つり教室」やわた

目下、市教育委員会体育担当と、時期について検討中です。今年は道具も十分であり、楽しい教室と実体験を生徒に満喫してもらいたいと思います。(吉川幾久雄)

①和東町キャンプフイッシング

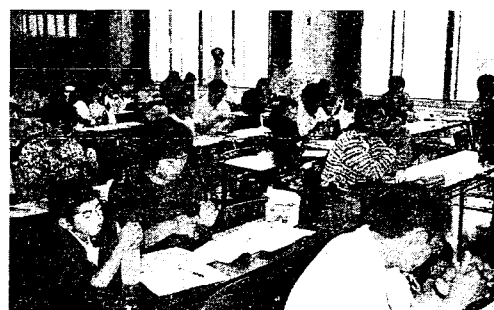
和東町の釣りキャンプは、伊勢鳥羽・紀東表島・舞鶴と所を変えて来ました。釣りが楽しめ、安全で、キャンプの可能な場所を事前に調べての企画です。今年も和東町教育委員会的主幹さんの場所選びの悩みからはじまります。8月下旬を予定として。(吉川幾久雄)

①ボーイスカウト つり章 講習審査会 ②10月21日(日) ③大阪府立青少年海洋センター ④ボーイスカウト ナニワ地区スカウト委員会

「スカウト」とは「先駆者」のこと、ボーイスカウトとは「自ら率先して幸福な人生を切り開き、社会の発展の先頭に立とうとする少年」という意味をもっています。ボーイスカウトの活動では年齢の近い仲間たちとともに大自然の中で思いきり楽しく遊びながら、多くのことを自分の心と体で体験学習していきます。その過程で将来、社会に出た時に必要となる体力や健康、協調性やコミュニケーションの能力、リーダーシップといった、大きく見れば「共生の能力」の基礎とノウハウをこく自

然に身につけることができるのです。楽しさ、厳しさ、思い出は決して減らない財産です。こんなスカウトの活動に理解していただき、JOFI大阪の皆さんの協力のおかげで章講習審査会も今年で5年目、第6回になりましたが、釣りの楽しさとともに、野外では常に気を配らなければならぬこと、危険から身を守り、事故を防ぐこと、安全を守るために、何よりもルールを順守すること、危険を予測すること、そして自然を保護すること等、楽しむことは楽をするのではないことをスカウト達に伝えて行きたいと思っています。(柴崎 隆)

①平成13年度東大阪市民講座、親子ふれあい釣り入門教室 ②平成13年6月10・24日、7月8日、22日(前期のみ) ③東大阪市民社会教育センター ④同上



本年度は、前期後期共4日間の予定で、市民社会教育センターで開講されます。受講対象者は市内在住、在勤の小学生以上の親子で前期は37組、93名の申し込みがありました。日程は6月10日は安全、マナー、基礎的な仕掛け作り、竿受け作り、小学校グラウンドにてキャスティング練習、6月24日現地釣り(場所は未定)で投げ釣り、7月8日、東大阪市消防局の

協力で、心肺蘇生法、救急処置法等、お魚の話、仕掛け作り、ブールで竿の扱い方等、7月22日、現地釣り(場所は未定) 浮子釣り、サビキ釣り以上の予定です。お魚釣りを通じて、親子のふれあいの場を広げ、お魚やその他の生き物と接する事で生命の大切さ、導き、自然の大切さを学び、野外活動を安全に楽しく過ごす、ファミリーを応援して行きます。講師は来田仁成氏を始め、松井康輝、東野英治、山根啓央、柴崎隆、物部胤三、重住晃孝の各氏に私、辻哲男が担当しております。尚、当教室に協力していただけるインストラクターの方は是非御参加下さい。(辻 哲男)

①大阪市西區区民祭り、フイッシングコーナー ②平成13年11月12日(予定) ③西區区民センター裏公園内 ④西區民まつり実行委員会 ⑤釣りの楽しさを一掃に

西區の区民祭りの行事の一つとしてフイッシングコーナーは、もう定着して来ております。インストラクターの皆さんの協力で、昨年も数百名の子供達の参加を得ています。この区民祭りの中での集人力は最高のもので、子供達にルアーを作成するコーナー及び、ルアーのシューティングのコーナー等、子供達は真剣に、色の配色を考え、又、シューティングではインストラクターの方々に、一生懸命教えてもらいながら投入をしている。このシューティングは各メーカーさんに協力いただいたルアーやルアーBOXが賞品である為に、欲しいルアーを目指して何度もシューティングに挑んでいる子供もいます。そのお世話をしているただインストラクターの皆さんには大変苦労をかけますが今年も多数のご協力をお願い致します。(佐藤 功)

わが家の自慢料理

人間の三大欲(食欲・性欲・知識欲)の中



でも、年を捕って参りますと徐々に食欲が一番の楽しみになる年齢に至ろうとしております。これを満足させるには、コンピュータではありませんが、其の周辺機器を整えなくてはならないと思います。まずは材料です。春のさくら鯛、夏のキス、鱈、秋・冬は鰯、鯖、冬の寒グレ等

と旬の材料を、一番新鮮な時に上手に料理して食するのが、最高の幸福を感じる時ではないでしょうか。

私は若い時は肉料理が大好きでしたが、徐々に食生活が変化し、最近では魚料理を食べる機会が増えて参りました。そこで、何とかして新鮮な魚材を手に入れる方法はないかと思っておりました所、友人が鯛釣りに釣れて行ってくれました。そうだ！より良い魚材は自家調達が一番確かだと実感し、その為には釣りの趣味にはまり、四季折々にマッチした食材を手に入れております。

又、魚料理には包丁という周辺機器も必要で、よくよその家庭で切っても切れないような包丁で料理しているのを見受けますが、2、3ミリの薄造りぐらい切れるような包丁で料理しないと、食材が可哀想なことになると思います。其の上、それらを盛り付ける皿類も大切な脇役になります。何が一番良いかは其の時々の心情、季節にもよりますが、多ければ多いほど料理を楽しむことができると思います。

さて、本題の「わが家の自慢料理」ですが、最近、串本大島で釣った鯛を料理した時の様子を紹介します。

まず鱗を丁寧に取り、3枚におろします。片身の半分を皮のまま少し厚めの刺身状に切り、それを湯通しして鯛の松葉造りにしました。鯛の皮がちやうど松ぼっくりのようになり、皮と身の間の少し油っこい所と、皮の歯ごたえ、湯引きの鯛の身の締まった感触がなんとも美味でした。残り半分は皮を剥いて薄造りにして三杯酢であつさりとし、残った片身の半分は皮をひき、刺身としてわさび醤油で食し、残りは鯛シャブにしました。残った皮は湯通しして、七味唐辛子、大根おろし、その他好みの香辛料を混ぜ、鯛皮の湯引きとして食しました。また、頭を取った中落ちの骨は、軽く塩をふり、トロ火で焼き、骨にへばりついた身を穿り頂きました。頭は半分に割割して、半頭を醤油、みりん、だし汁等で甘辛く炊き、胃煮(ゴボウがよくあいます)に、残り半分は潮汁にしてあつさりいただきました。これで鯛チャンが1匹成仏してしまいました。よくお酒が飲めます。

(宮内昭雄)

魚と私

釣りは子供のときから好きでした。

ただし、その頃は近所の川で悪童連中とワイワイ云いながらの釣りや、大物が掛ることは殆どありません。

さて、退職と共に大山に近い米子市に住み、山

と海の釣りと海釣りで三昧で過ごしています。

いろいろな釣った魚を何かの形で残したい、そう思い、

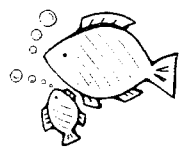
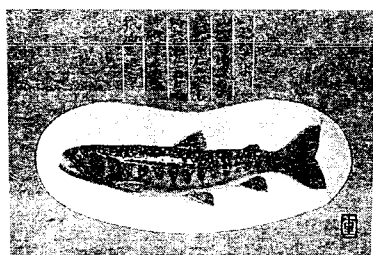
本彫りのレリーフに取り組みました。

それからおよそ2年、去る3月初め、約25点の作品で個展を開かせて頂きました。

私の好きな溪流魚、やまめ、いわなの作品を披露させて頂きました。本で作った魚の図鑑、そう思っ頂ければと思います。これから釣って、作り続けるつもりです。

皆さんもチャレンジされては如何ですか。

(神戸重成)



「私の自慢・釣りの雑文書き30年」

釣り雑誌に雑文を書き始めてから30年以上になる。惜しくも昨年廃刊になってしまった「釣りの友」(当時はこの表記だった)に、和歌山・日高川尻での貸しボートによるキス釣りルボを投稿したのが最初。その時はまだ29歳だったが、今年還暦を迎え、夏には会社も定年になる。思えば釣りの雑文書きも長くなったものだ。

大阪生まれ大阪育ちだが、大学だけは東京に出た。卒業して新聞社に入社。初任地は島根県の松江支局だった。ここで地方版の釣り欄を担当させられ、取材の過程で釣りに完全にはまってしまった。奈良支局を経て大阪本社勤務になったが、新聞記者とはいえ、仕事は記事を書くことではなく内勤の紙面編集。記事が書けないうつぶん晴らしが釣り雑誌への投稿になったといえなくもない。

「釣りの友」には、その後「雑魚釣り月誌」として4年余り投稿を続けた。また、設立発起人の一人として社の先輩だった小西和人さんと「週刊釣りサンデー」の創刊に参画。釣りサンデーでは、創刊号からの「船釣りのあっちこち」に始まって「釣りの本棚」「釣りと魚の雑学事典」「釣り百態」などを6、7年にわたって連載した。この間には「関西の釣り」「釣りマガジン」などからも依頼を受けて船釣りのハウツーなどを連載。単行本でも一人で書いた「沖づり」のほか、幾つかの共著にかかわった。さすがに40歳代半ばになると、役職もついて本業の紙面編集が多忙になり、雑文書きは一服。たまに釣行

ルボをスポーツ紙などに書くくらいになった。そして55歳で役職を降りてからは「芸は身を助く」で本業のかたわら釣り欄を担当。いま5年目に入っている。会社は8月末で定年だが、釣りに行ける限り釣り欄は書き続けるつもりでいる。

JOFI OSAKAから「私の自慢」のテーマをもらい、釣りの雑文書きの資料として収集した釣り関係文献(本、雑誌など)の中から珍しいものを紹介するつもりだったのだが、雑文そのもののベタベタの「自慢話」で終わってしまった。文献については、また機会があれば。

(森田邦柱)

編集後記

私達遊漁者も新しい時代を迎え法的規制を受けながら釣りをしている立場を会員の皆様にも正しくお伝えしていきたいと思っております。

今号は、楽しく読んでいただけるように「わが家の自慢料理」「私の釣り自慢」「会員リレー伝言板」等、身近かな情報を掲載しています。

また、今回は多くの記事提供があり、事務局は嬉しい悲鳴を上げています。

広報紙は皆様の記事提供で成り立っていますので、今後ともよろしく願います。

(広報紙事務局 物部胤三)

釣りを通して生きる意味を

大教大付池田小・児童に心のケア

佐藤 功

児童ら23人が殺傷された事件で、臨時休校したまま夏休みに入っていた大阪教育大付属池田小学校（大阪府池田市、児童六百九十人）は、8月27日、同市内の仮校舎校庭で二学期の始業式を行った。死傷者を出した一、二年生では、四割強の児童がストレス反応を示し、今も心療内科に通院しているという。

このほど、その日を忘れないように、と名付けられた『ろくはち会』主催の親子のケアに「釣り」が取り入れられ、大阪府釣りインストラクターおよび大阪府釣り連盟（会長・佐藤功）が後援した。

二学期の始まる前の25日朝から池田市五月山体育館に、親子ペア40組（80人）が参加当初、「楽しい釣りコーナー」「ドッグセラピー」などを行う予定だったが、「ドッグセラピー」は犬を室内に入れることを池田市に断られたため急遽取りやめた。

「楽しい釣りコーナー」では、インストラクターのボランティアメンバー20人が、参加した子供たちに、ルアーキャスティングや木のルアー作りを通じて、生きることを意味をかみしめてもらおうと、一生懸命になっていた。半日の行事だったが、楽しんでもらえたと思っている。

当日は釣具メーカーの中央漁具株、ヒロミ産業株、富士灯器株、マルキュー株に、ケーキのビジネスペンディング

の各社が協賛、催しを盛り上げてくれた。紙面を通して厚く御礼申し上げます。今回の催しにも、よろしくご協力のほどをお願い申し上げます。



ろくはち会 日本釣振興会大阪支部主催 ハローフィッシング大会

中川 英彦

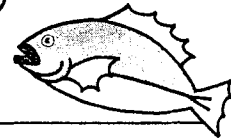
10月21日、ろくはち会のハローフィッシング大会に、スタッフとして参加させて頂きました。さて「ろくはち会」とは、過日の池田小学校での事件を忘れまいと言う事と心のケアを民間の立場で具体的に推進する団体で6月8日を、もじって、ろくはち会が設立され

たのです。そして、ろくはち会より依頼を受け、インストラクターの佐藤功氏が実行委員長となり、井波事業部委員長長の陰の労苦もあり8月25日に池田市五月山体育館でのイベントで「楽しい釣りコーナー」を受け持ち、大成功。参加者親子より次回は、ぜひとも、実釣会を行ないたいとの声が高まり今回の大会に至ったのです。当日は8時に池田市役所前より参加者親子42名と共に大型バスで、淡路「じゃのひれフィッシングパーク」を目指し出発、車中にて日釣振発行のハローフィッシング等の教材を使い、参加者全員で楽しく釣りの基本、マナー等を学び合いました。



た。現地に到着後さつそく、3・6mの竿にリール、仕掛けをセットし広場で子供たちに、仕掛けの投入法と取り込みを、練習してもらい、実釣となりました。2ヒロ半のタナで開始、ウキが立つまでに、いきなりツバスの入れ食い、あちこちで竿が大きく曲りだし、爆釣モードと成りました。参加者親子からは「ヤッター釣れた!」と大歓声が上がりました。ツバスの強い引き、横走りに仕掛けのおまつり処理、ハリの交換、エサ付けに、我々インストラクターも、大忙がしバニク状態、そんな我々の事を尻目に、子供たちは、「おっちゃん、はよして、こっち、こっち、まだかいな?」とヤンヤ、ヤンヤの大さわぎでしたが、釣堀の従業員の方々も手伝っていただき何とかバニク状態は、クリアできました。マダイも多数釣れ、子供たちからは、これでツバスとマダイ5尾ゲット、10尾ゲットの声が上がりました。子供たちの楽しい実釣会となりました。子供たちといっしょに釣りに熱中している父兄の方々の明るい笑顔が、とても印象的でした。最終の釣果は、マダイ120尾、ツバス89尾計209尾、大成功のイベントとなりました。

8月、10月とろくはち会のイベントに参加しましたが、日頃、JOFI大阪の諸活動を知らなかったり事情で参加できなかった新しいメンバーが、元気一杯に活躍されている姿を見るにつけ、今後も、定例の理事会、メンバー同志の連携を密にしJOFI大阪のさらなる発展を決意させて頂きました。今後共、一切無事故、大成功の運営をさせて頂きますのでどうぞ良ろしくお願いいたします。



（デイリースポーツ新聞）
10／25日掲載

(週刊釣りサンデー)
11/11日号掲載

児童殺傷事件のあった大阪府大府市で、小字三箇九十八人の児童の心のケアを支援しようと結成された「ふたばこ・ふたばこクラブ」は、日本釣鯉興会大阪支部主催の「ロウ・フィッシング大会」に、二十日、二十一年生児童と父母で四十一人が参加。兵庫県淡路島の釣り船「山形修吾長」の全面協力で、オーシャンヤング・スノーケリング、チャーター・ボート・クルーの指導でベイト・ボートで魚を釣ると、エドムス・インの末代神楽舞、朝日新設された釣り台、是れ等々、明れた本釣鯉興会大々開会

「ろくはち会」ハローフィッシング大会

おなして、釣つた魚は全部おとし、約り大さびでバスの中へ。

親は、二男の母の肩に、他人を預けられたまで、まだ暗闇がかりそうである。機会がある交流には構はず、お互い交流しながら、徐々に回復して「それは」と話していた。

佐藤功・大阪府連盟会長、の脱。川に落ち、小い子供のように驚かすことができるので、根気よく続けた。また、この度にはメーデー、ボラシー等の協力を得て、おしよせましたので、よろしくお願いいたします。

●問合先： ジョイボト（南條路）
9、聖りりりり
元正正

子どもの心のケアには釣り最高

池田小学校の21人が父母と淡路島の釣り堀で遊んだ

参加した子ども達は、前回の釣り教室に参加したメンバーが中心で、父母を合わせた42人。子どもは1年生から5年生までの21人。参加した子ども達のほとんどが、釣りをしたことがない。

受けたらもう忘れちゃった。つぎの4月6日、大阪府池田市市内の大阪教育大学付属池田小学校で起こった親戚による、日本中、世界中にも衝撃を与えた事件から34年、子ども達は少しずつ立ち上がり取り戻しているようですが、まだまだのケアが必要だと専門家は話す。

事件以降、心のケアを目的としている催しが開かれていた。10月21日には、うきは会主催の「ハロー・フィアーズ大会」が、大塚路野郎の談話しごの、れ、フィアーズシンガポール、われた。うきは会と、池田小学校の事件は起こったあとに、6月8日と忘れられ、この日をもちに、子ども達にのケアを付けた、ンティアの会だ。

「子ども達の心のケアを、してくれないか、各方面のお願いもきん、釣りはどうですか、とお話がありまして、私は心のケ

「たまたま二、三の近事を掲載
をお願ひしました。そして、
お甲にらア作り、キキア
ステキングをやったの、キキ
アが好評で、釣りに持
きたと、今回の釣行を
つづけます。もちろん、私
達二人の釣りにだけけ
ませんから、住居三ヶ所中
大阪支部、各釣行一か
所の協賛で実現したので
す」と同会代表の西岡博也

ないのに、実釣の扱いにふさわしくないので、**実釣釣具店**は、**大塚有釣りバスとアクター**などのメーカが指導。

そして**実釣は大塚吉**、**四バークの配導で、マディハマーが大塚に入れられたところまで、仕掛けを入れたら、この同好年生は曲がってお手にのメンバ**は取込み、**無外し、仕掛けの入るなを問もないたじき**

一釣りにはじつと面白い魚が掛ったときの引き

「その釣りは子どもだけ
を水に上けていた」
でなく、父母にも参加を呼
びかけたのだ。子どもは心
のケアだけでなく、父母の
心のケアが必要だったか
らです。事件以来、子ども
に特に優しく、怒ることも
できなくなっていた。その
子どもは母に導かれていた
のだから、むしろ父が母が
多いのか、と聞きながら、今
日は子どもと一緒で帰って
来しめて、大成功だったと
思います」と西岡さん。

一池で何回カルアーやったことあるけど、魚が掛かったのは初めて。引きが強くて上げるのが大変一とお父さんと二人がかりでマタイ

大きなマダイを釣り上げ喜ぶ付属池。小の児童と父親（兵庫県南淡町阿万で）

(読売新聞 10/22日朝刊掲載)

付屬池田小兒童
淡路島で魚釣り

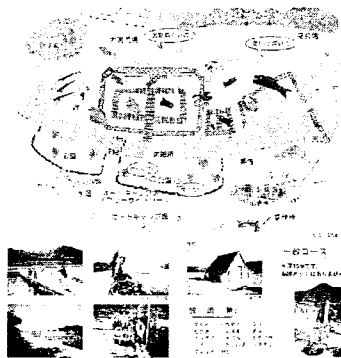
心のケア支援

児童殺傷事件のあった太
阪教育大付属池田小の児童
と父母の四十二人が二十一
日、兵庫県南淡町(淡路島)
で釣りを楽しんだ。

児童の心のケアを支援しようと結成されたボランティア団体「こころの国」です。体験を通じて、徐々に回復して

画博史代表）が自然と触れ
合う機会をと企画。

仕掛けを捻げる練習をした後、糸を垂れ、マダヤやツバスがかかると、歓声を上げていた。一年男児の母親(37)は「子供はまだ身内以外の人を信頼できないよう

[illegible]